



和だより

弟子屈町立和琴小学校

2月28日 発行者 校長 大山道弘

～学校と家庭と地域で子育てする和琴小～

■学校教育目標

よく考え正しく判断できる子 (知)

強い心と体でやり抜く子 (体)

優しい心で助け合う子 (徳)



過去から学ぶ

校長 大山 道弘

例年より暖かい日が続き、今年は春が足早にやってきそうです。3学期の登校日も、残り15日になりました。6年生を送る会や卒業証書授与式などの行事はありませんが、子どもたちは進級に向けて学年のまとめに取り組んでいます。

1月17日で阪神・淡路大震災発生から30年が経ちました。14年前の3月11日には、東日本大震災が発生しました。1年前の1月1日の能登半島地震は、記憶に新しいと思います。北海道に住む皆さんは、冬の災害対応が心配ではないでしょうか。停電でも使用できるポータブルストーブ等を用意し、災害に備えているご家庭もあることと思います。

14年前の東日本大震災が発生したとき、弟子屈町は震度3でしたが、今まで経験したことがない長時間の揺れのため児童を屋外に避難させました。しかし、慌てて避難させたため、教師が校舎内に児童の防寒着を取りに行くという大失敗をした記憶があります。それ以来、冬季の避難訓練は長時間の屋外での避難を想定し実施しています。

和琴小学校では、年6回避難訓練を行っています。これは過去の災害の事例をもとに、様々な危険から自分や仲間の身を守る方法を身につけ、いざというときに命を守ることができるようにするためです。昨年度から冬季にも避難訓練を実施しており、2月6日には、地震により理科・家庭科室から火災が発生する想定で行いました。足元が滑ることに気をつけながら、安全に避難する訓練です。また、積雪のため訓練では防寒着を着て、予め外靴を避難口に用意して実施しました。もし実際に避難するときは、外靴を取りに行けなかったり、防寒用のズボンをはく時間がなかったりするかもしれません。しかし、冬季は、できるだけ寒さ対策をしてから避難するという意識をもつことも大切です。

物理学者で随筆家の寺田寅彦の言葉に「天災は忘れた頃にやってくる」があります。十勝沖、釧路沖、根室沖において約500年間隔で発生している巨大地震は、前回の発生から約400年経過しています。いつ巨大地震が発生してもおかしくありません。地震が少ない弟子屈でも、昭和13年屈斜路湖底地震を始め、昭和34年(短い間隔で震度4が2回)、昭和42年(震度5)など大きな地震が発生しています。屈斜路八十年誌によると、屈斜路湖底地震では、道路が2.4mずれたり、住宅が30cm以上動いたりするなど大きな被害があったそうです。弟子屈でも大震災は起こる可能性があります。

自分の命は自分で守る。そのために防災意識を高める教育が大切です。これからの未来を担う子どもたちが、過去から学び、主体的に未来を創り出すことができるように、日々教育活動に取り組んでいます。

< 3月の行事 > 下校時刻は、前半が5時間・後半が6時間

日	曜	行 事	下校時刻	給食
1	土	週休日		
2	日	週休日		
3	月		14:00 14:55	○
4	火	ALT	14:00 14:55	○
5	水	読み聞かせ	14:10	○
6	木	全校集会	14:00 14:55	○
7	金	ALT 5時間授業	14:10	○
8	土	週休日		
9	日	週休日		
10	月	学校運営協議会	12:45 14:10	○
11	火	ALT	12:45 14:10	○
12	水	午前授業 読み聞かせ	13:15	○
13	木	図書館バス	12:45 14:10	○
14	金	ALT	12:45 14:00	○
15	土	週休日		
16	日	週休日		
17	月		12:45 14:10	○
18	火	ALT	12:45 14:10	○
19	水		12:45 14:10	○
20	木	春分の日		
21	金	ALT 大掃除	14:00	○
22	土	週休日		
23	日	週休日		
24	月	修了式・離任式 3時間授業	11:15	×
25	火			
26	水			
27	木			
28	金			
29	土	週休日		
30	日	週休日		
31	月			

今年度は6年生がいないため
卒業証書授与式はありません

新学期始業式：4月9日(水)

和琴小ホームページ <http://163.44.3.160/app-def/S-102/washou/>

和琴小学校の取り組みや児童の活躍等を随時紹介していきます。ご一読のほど、よろしく願いいたします。



2月の和っ子

■チャレンジ冬休み（作品等）発表会

1月20日（月）に、チャレンジ冬休み発表会を行いました。

どの子どもも冬休みの時間を使って、一人または家族とすばらしい作品を作りあげていました。発表では、どうしてこの作品を作ったか、どのように作ったか、大変だったことや工夫したこと等について作品を見せながら話す姿が見られました。また、発表の仕方についても、動画や写真を活用したり、設計図を紹介したりと聴く人に伝わるよう工夫していました。

発表後は、子ども同士で作品のよさを認める感想もたくさんあり、素敵な発表会になりました。



■冬のスポーツフェスティバル

1月28日（火）には、町内へき地・複式2校（美留和小・和琴小）合同の「冬のスポーツフェスティバル」が行われました。

前半のスケート記録会では、50m、100m、300m、500mの中から1種目を自分で選んで出場しました。どの子ども、自己ベストを目指して最後まで一生懸命滑る姿が大変立派でした。

後半は2つのお楽しみゲーム、「そりりレー」と「宝探し」を行いました。

風が強かったですが、青空の下、雪と氷を満喫した一日になりました。



■食育指導

2月5日（水）と17日（月）には、弟子屈中学校の栄養教諭である中野彩加先生を講師にお迎えし、食育指導を行いました。

低学年は、給食センターについて、中学年は、噛むことの大切さについて、高学年は、バランスの良い食事と1日に必要なエネルギーについて、それぞれ教えていただきました。

今回の学びを生かし、よりよい食事の習慣を身につけていってほしいと思います。



■冬のふるさと体験学習・PTA 親子レク

2月7日（金）は、冬のふるさと体験学習でした。今年の活動場所は、夏に行われたふるさと遠足と同じ川湯のつつじヶ原探勝路です。

最高の天気の下、夏とは違う景色を見ながら、クロスカントリースキーを楽しむことができました。

その後、給食試食会を挟み、午後からは PTA 親子レク「味噌づくり体験」を行いました。みんなで協力しながら味噌の仕込みを行いました。完成は8~10月頃です。

今回、ふるさと体験学習の講師を引き受けて下さった祖父江健一様、齋藤哲治様、青木崇様、味噌づくり体験の講師を引き受けて下さった「てしかがえこまち推進協議会食文化部会」藤原直美様、そしてご参加いただいた保護者の皆様、大変ありがとうございました。



■新一年生一日体験入学

2月10日（月）に、令和7年度の新入生1名を迎えて一日体験入学を行いました。

当日は、6名のお兄さん、お姉さんが大活躍でした。体験授業で、「ぴよんぴよんがえる」を作りました。作り方や遊び方を優しく教えていました。また、教室の飾りつけも心を込めて行いました。

4月から一緒に勉強したり、遊んだりするのが楽しみです。

■表現教室

1月20日（月）、2月3日（月）、17日（月）に、藤原俊和様を講師として表現教室を行いました。温かな雰囲気の中、子どもたちは、頭・体・心を大いに使って表現することを楽しんでいました。気持ちを色で表すことで他者との違いに気付いたり、人の動きに合わせて楽器を鳴らすことで、伝える側と受け取る側の両方が大切だと感じたりしました。

藤原様、講師を引き受けて下さりありがとうございました。

